

ダイオキシンを負圧隔離環境下にて高圧洗浄機にて除染する工法です。

※コストレベルは仮設・廃棄物処理・環境測定を除きます

↑ 負圧湿潤にて安全
メリット

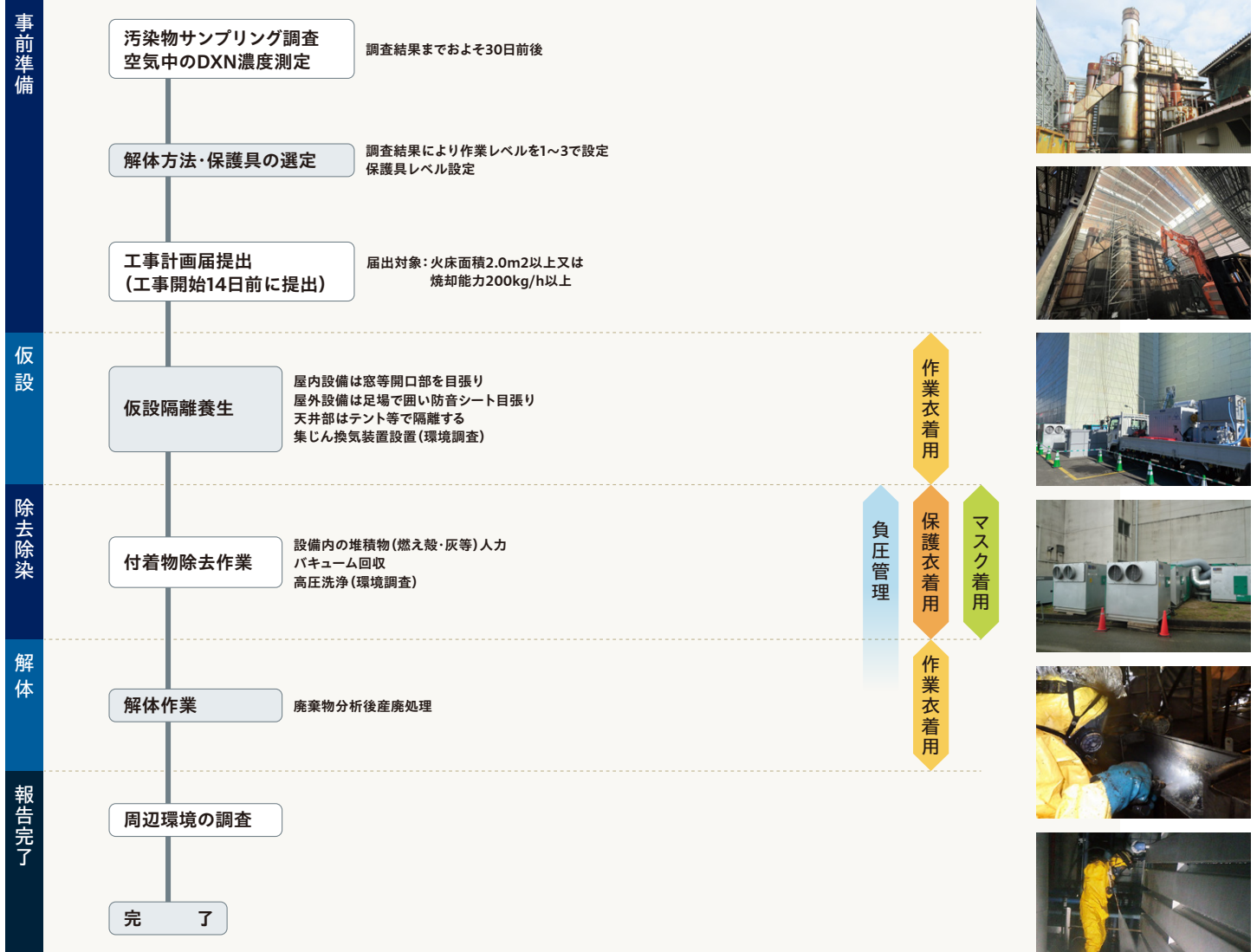
↓ 排水分析に
時間とコストが
かかる
デメリット

養生	適応建材	適正構造物	適正作業環境	コストレベル
負圧隔離	ダイオキシン	焼却炉	改修・解体	5

フローチャート(焼却炉解体・ダイオキシン類除去除染工事)

焼却炉解体工事

焼却施設を解体する前にダイオキシン類の汚染物を除去しなければならない
適用対象:火床面積0.5m²以上又は焼却能力50kg/h以上



作業環境調査は管理区域変更時と管理区域解除は必須
周辺大気測定は除染中と完了後が好ましい

「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱」

適用対象:火床面積0.5m²以上又は焼却能力50kg/h以上

届出対象:火床面積2.0m²以上又は焼却能力200kg/h以上

- ※ 隔離内の養生は床・壁面シート養生はしません。開口部の目張りのみ
- ※ 事前調査に敷地境界は必要なし。設備内の付着物分析必要
- ※ 除染中の測定は作業場内のみが基本。特にセキュリティー前は必要なし
- ※ 排気口も必要であれば定期的に1日数回程度
- ※ 産廃は排水・焼却灰ともに分析後
- ※ 除去面の飛散防止剤・固化剤散布必要なし